

特別活動 授業構想

平成26年10月10日（金）5校時 1年6組教室
 1年6組(男子15名, 女子17名, 計32名)
 授業者：教諭 谷内真紀子

1 題材名 文化祭に向けて

2 教材観

文化祭は、日頃の学習の成果を発表する場であり、生徒達に目標に向かって主体的、積極的に取り組ませることにより、責任と協力の態度を育てることをねらいとする。特に合唱コンクールは、課題を解決しながらより良い発表を目指す組織的な取り組みを通して、生徒達に集団の一員としての自覚を促す。さらには望ましい人間関係の在り方についても考えさせることができ、生徒相互の結びつきや集団としての団結の深まりを期待できる。

3 生徒の実態

一学期の運動会での学年種目の取り組みでは、練習方法をめぐって考え方に違いが生じ、解決が図られないまま本番を迎え、不本意な成績に終わった経緯がある。自分の意見を主張でき、満足感をもって活動に取り組める者と、意見を表明できず、満足感が十分に得られない者との生徒層が分かれている。お互いの気持ちや考えを安心して表明し受容し合う雰囲気を作り、一丸となって建設的な活動に取り組めるようにしたい。

4 本時について

(1) 本時の学習 『明日へ』をよい合唱にするための“作戦”を考えよう

(2) 本時のねらい

- ①昨年度の合唱のビデオから、自分達に不足している部分や取り入れたいことについて気づき、意見を交流する。
- ②互いの意見を聞き合いながら協調的に話し合い、より良い学級合唱を実現させるための方策について考える。

(3) 本時における「わかる生徒の姿」

話し合い活動を通して、より良い学級合唱を実現するための方策を考え、自分にできることを進んで行おうと決意する。

(4) 展開構想 ○→主な学習活動 ・→(予想される)生徒の反応 ①, ②→評価場面

学習のステップ	学習内容と予想される生徒の反応	指導上の留意点	かわり合いの形態
導入	○事前アンケートの結果を聞き、合唱コンクールに向けての取り組みの現状や課題点、級友の考えを知る。	アンケート結果に関する補足をしながら、学級への連帯感が深められるような話し合いになるよう助言する。	全体
学習課題 「明日へ」をよい合唱にするための“作戦”を考えよう			
第1ステップ	○昨年度の合唱コンクールのビデオを視聴し、気がついたことや感想を発表しあう。	個人で考える時間をとり、その後、小集団で全員が発言する機会が得られるようにする。 ①学習シート、観察	個人 4人組
第2ステップ	○パート毎に、これからの練習方法や改善策について具体的に話し合う。 ○話し合った内容をパートリーダーが発表する。	パートリーダーに話し合いの進め方を示す。 意見を聞くときはしっかりと聞くようにする。 ②話し合いの様子を観察	パート毎
ラストステップ	○話し合いを通して、これからの練習で自分が特に努力したいことを決意として書く。	今後の実践に向けて、活動意欲を高められるよう助言をする。 ②決意の記述	個人